

# 木曾の農業農村整備 2023



長野県 木曾地域振興局 農地整備課



しあわせ信州

# 長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）

～信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村～

計画期間：2023～2027年度（5か年）

## 計画策定の基本的な考え方

国の土地改良長期計画（2021～2025年度）との整合を図りつつ、第4期長野県食と農業農村振興計画（2023～2027年度）の実行計画として、基本方向の達成に向けた成果目標と計画期間内に取り組む具体的な施策の展開内容を示しています。

## めざす姿

- ◆ 農業用水の安定供給と生産性の高い農地の整備により、**次代を担う産地を支える基盤整備の推進**を目指します。
- ◆ ため池の耐震化や豪雨への備え、農業水利施設等の適切な保安全管理体制づくり、農業用水を活用した小水力発電の促進による維持管理負担の軽減、中山間地域の特色を生かした生活環境の整備により、**安全安心で持続可能な農村の基盤づくり**を目指します。
- ◆ 農村の多面的機能の維持・発揮と生産活動の継続を図るため、地域ぐるみで行う共同活動を支援し、**農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり**を目指します。

## 基本方向と施策体系

### 1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

- (1) 農業用水を安定供給するための農業水利施設の長寿命化
- (2) 収益性を高めるための農地の整備
- (3) 効率的な生産を支える農地の整備

#### 【主な事業】

- ・ 県営かんがい排水事業
- ・ 県営畑地帯総合土地改良事業
- ・ 経営体育成基盤整備事業
- ・ 団体営土地改良事業  
(農地耕作条件改善事業 等)

### 2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

- (1) 農村の暮らしを守る防災減災対策
- (2) 持続的な営農を支える農地等の整備
- (3) 農業水利施設等の適切な保安全管理
- (4) 農業用水を活用した小水力発電の導入促進

- ・ 地すべり対策事業
- ・ 県営農村地域防災減災事業
- ・ 県営中山間総合整備事業
- ・ 県営農道整備事業
- ・ 団体営土地改良事業  
(農業水路等長寿命化・防災減災事業 等)
- ・ 地籍調査事業

### 3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- (1) 多様な主体の参画により進める多面的機能の維持

- ・ 多面的機能支払事業



畑地帯の農業基盤整備  
西山地区(木祖村)



農業用ため池の防災工事  
大平ため池(木祖村)



農業用水を活用した小水力発電  
吉野小水力発電所(上松町)



# 木曽地域の整備方向

## 地域農業の特徴と農地の整備状況

### ○ 地域農業の特徴

木曽川沿いの平坦地や谷間に形成される農地では、水稻のほか地元食文化として根付いてきた「そば」や「赤かぶ」等の栽培が行われ、近年は、「インゲン」や「えごま」等の栽培にも力を入れて取り組んでいます。

また、木曽町や木祖村の高冷地に広がる畑地帯では、冷涼な気候を生かした「御嶽はくさい」や「トウモロコシ」の生産が盛んです。

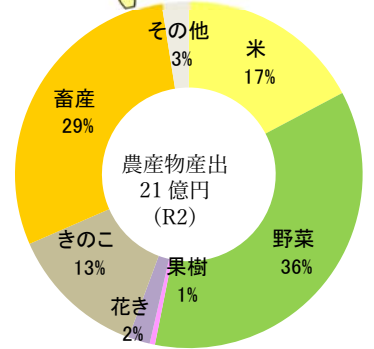
畜産業は、高品質な「木曽子牛」を全国に供給する産地として知られています。



中山間地域の未整備農地



高冷地に広がる整備された畑地帯



### ○ 農地等の整備状況

木曽地域で比較的多量のある水田地帯については、中山間総合整備事業により基盤整備が進められていますが、整備率は県平均を大きく下回っています。

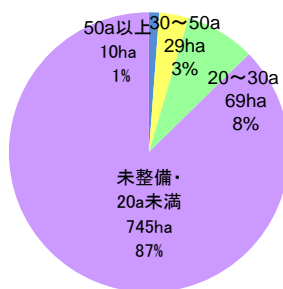
また、木曽町開田高原や木祖村西山地区の畑地帯では、畑地帯総合整備事業等により基盤整備とともに農地集積が進められ、整備率は県平均を上回っています。

近年では、木祖村の活性化施設など生活環境基盤の整備や、南木曽町の小水力発電施設の整備が進められるとともに、防災減災対策として、上松町・木祖村に防災無線等情報基盤が整備され、木祖村の大平ため池には、監視カメラと水位計が設置されるなど ICT の導入により、ため池の遠隔監視が可能となりました。

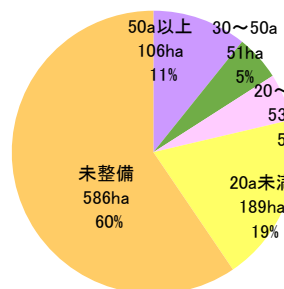


整備された水田（上松町野尻地区）

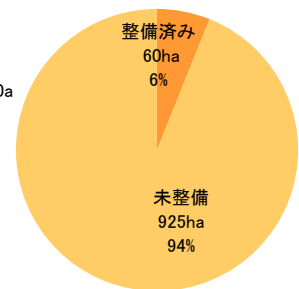
〔水田整備〕



〔畑地整備〕



〔畑かん整備〕



「御嶽はくさい」の収穫作業



ため池監視システム（木祖村大平ため池）

〔農業農村整備事業による ICT の導入状況〕

